

# 全国犯罪被害者支援フォーラム 2025 概要

## 「すべての被害者を『ひとりにしない』支援」

30 回目の開催となる「全国犯罪被害者支援フォーラム 2025」は「すべての被害者を『ひとりにしない』支援」をテーマに 10/17（金）に開催する。

### □開催形態について

1) 10/17：イイノホール（東京都千代田区・霞ヶ関駅 C4 出口直結）500 名 ※3) と重複申込み可

2) 10/17：YouTube ライブ配信定員 500 名 ※3) と重複申込み可

3) 11 月：アーカイブ配信定員（11 月） 500 名

※1) と 3)、2) と 3) の組み合わせで、申込みが可能です。

### 第1部：(13:00-14:25)

	開会挨拶	全国被害者支援ネットワーク 理事長	椎橋 隆幸 氏
13:00-13:30	来賓挨拶	国家公安委員会委員長 日本弁護士連合会	坂井 学 氏
		犯罪被害者支援功労者特別栄誉章・功労団体表彰 感謝状贈呈	
	基調講演		
13:30-14:25		「犯罪被害者支援の 30 年を振り返って -精神医学・心理学的視点から-」	
	講演者： 武蔵野大学 学長		小西 聖子
14:25-14:50		休憩	

### 第2部：(14:50-17:10)

14:50-15:40	被害者の声 「想いと願い」		
	講演者： 「京都アニメーション放火殺人事件」 ご遺族	渡邊 達子氏	渡邊 勇 氏
15:40-15:55		休憩	
15:55-17:05	パネルディスカッション 「被害者がいつでもつながることができる支援」		
コーディネーター	武庫川女子大学 心理・社会福祉学部 社会福祉学科 教授		大岡 由佳氏
	パネリスト		藤代 富広氏
	人間環境大学 総合心理学部 総合犯罪心理学科 教授		高橋 久代氏
	くまもと被害者支援センター 支援コーディネーター		
17:05-17:10	閉会挨拶	犯罪被害救援基金 専務理事	田村 正博氏

★フォーラム開催当日は、会場参加者からの質問を受付ません。質問がある方は、参加申込フォームの質問欄にご記入ください。なお、質問を受け付けるのはパネルディスカッションのみといたします。

第一部 13：00～14：25

## 基調講演

### 「犯罪被害者支援の30年を振り返って-精神医学・心理学的視点から-」

◎講演者：武蔵野大学 学長 小西 聖子 氏

<講演内容>

- ・ 犯罪被害者支援のはじまり
- ・ 阪神淡路大震災のもたらしたこと
- ・ ネットワークの構築とトラウマの治療
- ・ 社会の変化と法制度の改正
- ・ 現在の課題

上記についてご講演をいただきます。

第二部 14：50～17：10

## 被害者の声 講演「想いと願い」

◎講演者：「京都アニメーション放火殺人事件」ご遺族 渡邊 達子氏 渡邊 勇 氏

<講演内容>

- ・ 当時と経験と心の動き
- ・ 支援があり気がついたこと
- ・ このような事件や被害が少しでも減る社会への願い

上記について、ご講演いただきます。

## パネルディスカッション 「被害者がいつでもつながることができる支援」

コーディネーター：

武庫川女子大学 心理・社会福祉学部 社会福祉学科 教授 大岡 由佳 氏

パネリスト：

人間環境大学 総合心理学部 総合犯罪心理学科 教授 藤代 富広 氏

くまもと被害者支援センター 支援コーディネーター 高橋 久代 氏

<討議内容>

犯罪被害者等の方に対する公的な支援制度は充実し、一定の支援体制が構築されています。

しかし、被害届を出していない方、出せなかった方、相談機関につながるができなかった方は、被害から回復する術を持たずに困り、苦しんでいる現状があります。

被害発生から長期間が経過し、公的に認知されていない被害者や、支援につながっていない被害者は、支援を受けることができないのでしょうか。

本パネルでは、このような被害者の方が存在することを認識したうえで、「このような被害者には何ができるのか、何をすべきなのか」、「このような被害者の方に対する新たな視点の持ち方」について討議し、参加者からの質問に回答も踏まえ、支援者側に求められることを確認する場とします。

討議テーマ1：支援者ができることとは何か

討議テーマ2： 私たち支援者が知っておくべきこと